

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	運動発達支援スタジオ笑みりい～深井			
○保護者評価実施期間	令和8年7月1日 ～ 令和8年7月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49人	(回答者数)	29人
○従業者評価実施期間	令和8年7月1日 ～ 令和8年7月10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育特化型のプログラムを提供している。	お子さまの課題を共有したり、保護者様からのニーズを確認したりして、職員みんなでどんな運動や動きをプログラムに入れるか話し合っている。	定期的に研修を行ない、職員が感覚統合の知識をより深めて支援にいかせるようにしていきたい。
2	ほめる支援を心がけている。	スモールステップでプログラムを提供し、成功体験をつんでいる。できたこと、がんばっていることも共感してほめさせていただき、自信につなげている。	新しく入った職員にも会社の理念や療育の方針をしっかりと伝えて、お子さまが安心して過ごせる事業所であり続けたい。
3	生活プログラムで3つの分野（ADLトレーニング、ビジョントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング）で課題を提供している。	3つの分野を偏りがないように提供するとともに、お子さまが興味を持って楽しく取り組めるよう内容を吟味している。	職員一人ひとりが指導員のプロとしての意識を持てるように支援方法や特性理解を深めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	長期休暇中は小学生の利用が減ってしまう。	学校課業中と同じ時間帯での療育なので、お仕事をされている保護者様は長時間のデイスービスを希望されるため。	運動療育で療育時間（1時間35分）は変更が難しいので、その中で魅力的な活動を提供できるように今後も取り組んでいきたい。
2	プログラムが決まっているため、園や地域など他の子ども達と関わる機会が持ちにくい。	プログラムの時間が決まっており調整が難しい。	兄弟児も一緒に参加できるイベントを増やしたり、笑みりい～の他事業所と交流する機会を作れないか探していきたい。
3			